

◎アローゼン顆粒 [内]

【重要度】 【一般製剤名】特徴参照 senna 【分類】緩下剤

【単位】◎1包0.5g

【常用量】0.5～1.0g/回

【用法】分1～2

【透析患者への投与方法】大部分は糞便中に排泄されるため減量の必要はない(5) ただし透析患者では腸管内圧上昇による虚血性大腸炎が起こりやすいので、直腸内に硬便のある場合には取り除いてから投与するのが望ましい(5) 【その他の報告】炭酸カルシウムやカリウム吸着レジンは原因の硬結便には本剤よりもソルビトールなどの糖類下剤が適切である(5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし(5)

【特徴】成分はセンナで基本的にプルゼニドと作用は同じ。顆粒1包0.5g中、センナ葉 288.95mg、センナ実 192.65mg 含有。1g中カリウム0.4mEq含有

【主な副作用・毒性】腹痛、悪心・嘔吐、腹鳴など

【吸収】吸収されない(1)

【代謝】センノシド A・B は、腸内細菌の作用によりレインアンスロンとなり、瀉下作用を発現する(マウス)(1) その他の成分であるレイン、アロエエモジン、センノシド C 等は瀉下作用を増強するとされている(マウス)(1)

【排泄】糞便中排泄(1)

【MW】862.75

【OW 係数】資料なし(1)

【備考】連用により耐性を生じ、薬が効かなくなるので長期連用は避ける。尿が黄褐色から赤色を呈することがある

【更新日】20140507

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。